

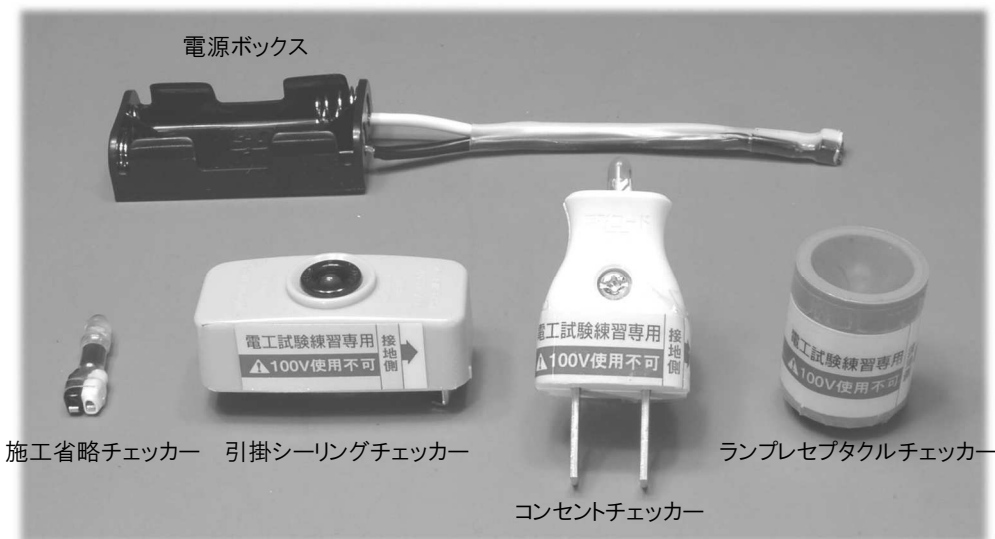
Z-222 合格配線チェッカー

このたびはホーザン Z-222 合格配線チェッカー をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。また、お読みになったあとも大切に保管してください。

⚠ 必ずお読みください

- ・ 試験会場への持ち込みはできません。絶対に会場へ持ち込まないでください。
- ・ 下記を参照のうえ、内容物に間違いがないか ご確認ください。

入組明細



本製品は第二種電気工事士技能試験の練習を補助するためのものです。乾電池とLEDを使用することにより、安全に電気の極性を理解していただけるような構成になっています。

※正しく配線を行えているかを確認するものであり、圧着不良など施工ミスは確認できません。

付属品

単3(R6)電池×2
電池は評価用(モニター用)につき寿命の保証はございません。

注意文の警告マークについて

この取扱説明書ではご使用上の注意事項を次のように区別しています。

⚠警告 …重傷をとまなう重大事故の発生を想定してのご注意

⚠注意 …傷害や物的損害を想定してのご注意

なお、**⚠注意**として記載されていても、あるいは特に記述がなくても、状況によっては重大な結果をまねく恐れがあります。正しく安全にご使用ください。

ご使用上の注意

⚠ 注意

1. 本製品は第二種電気工事士実技試験の練習専用製品です。候補問題を練習する目的以外に使用しないでください。
2. **絶対に家庭用電源等の電流を流さないでください。チェッカーが破損します。**
3. チェッカーを分解しないでください。

- ・ 試験会場内への持ち込みはできません。絶対に会場内へ持ち込まないでください。
- ・ 本製品では「パイロットランプ」「200V回路」「アース回路」の配線確認はできません。ご了承ください。

チェッカーの極性確認

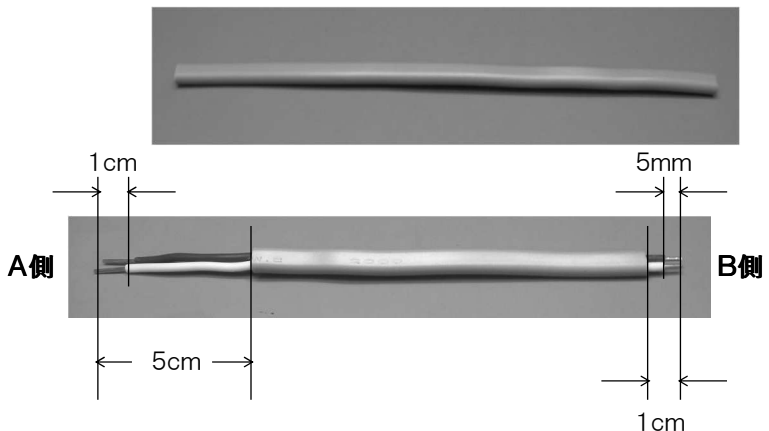
各チェッカーのLEDが点灯することにより配線の良否が確認できます。

LEDには極性があり、逆の極性に接続しても点灯しません。この特性を利用して回路の極性をチェックすることができます。

極性確認に必要な電線を用意します。

1.6mm×2芯の電線を20cm程にカットします。

図のように
ストリップ
します。



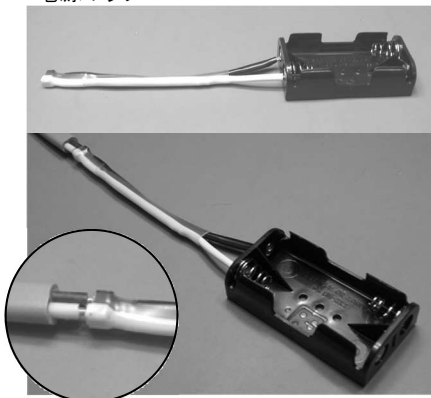
チェッカーの極性確認

①電源ボックス

電源ボックスに先ほど用意した電線を接続します。

ストリップした電線のB側を電源ボックスに接続します。
色を合わせ(白線を白側、黒線を黒側)、端子に電線を差し込みます。

電源ボックス



電源ボックスに、付属の電池をセットします。

単3(R6)電池2本の3V仕様です。

※定格3Vのため、充電電池等を使用しないでください。



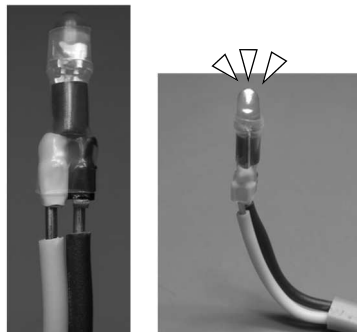
②施工省略チェッカーの極性確認

ストリップした電線のA側を施工省略チェッカーに接続します。

芯線被覆の色と施工省略チェッカーの足の色を合わせて電線を差し込んで接続してください。

施工省略チェッカー先端のLEDが赤く点灯することを確認ください。

施工省略チェッカー



施工省略チェッカーを取り外してください。

チェッカーの極性確認

③コンセントチェッカーの極性確認

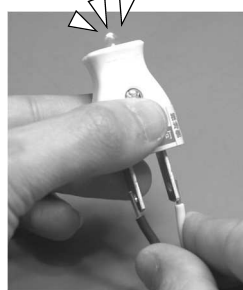
コンセントチェッカー



ストリップした電線のA側をチェッカーに当てます。

接地側を意識し、シールの表示に従って接地側の端子に白線、もう片側の端子に黒線を当てます。

LEDが点灯することを確認ください。



④ランプレセプタクルチェッカーの極性確認

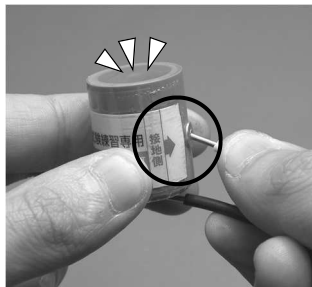
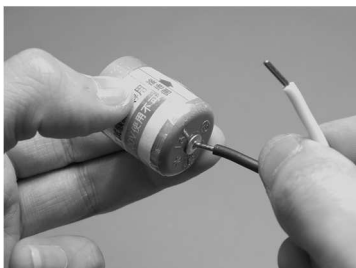
ランプレセプタクルチェッカー



ストリップした電線のA側をチェッカーに当てます。

接地側を意識し、側面にある接地側の端子に白線を、チェッカー底部の端子に黒線を当てます。

LEDが点灯することを確認ください。



チェッカーの極性確認

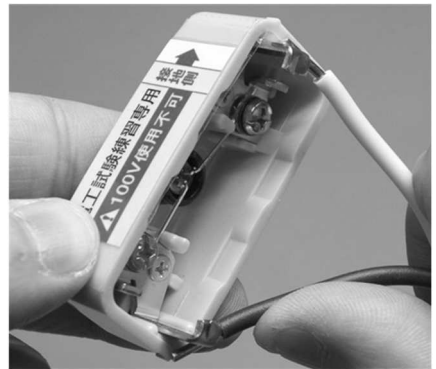
⑤引掛シーリングチェッカーの極性確認

引掛シーリングチェッカー



ストリップした電線のA側をチェッカーに当てます。

接地側を意識し、シールの表示に従って接地側の端子に白線、もう片側の端子に黒線を当てます。



LEDが点灯することを確認ください。

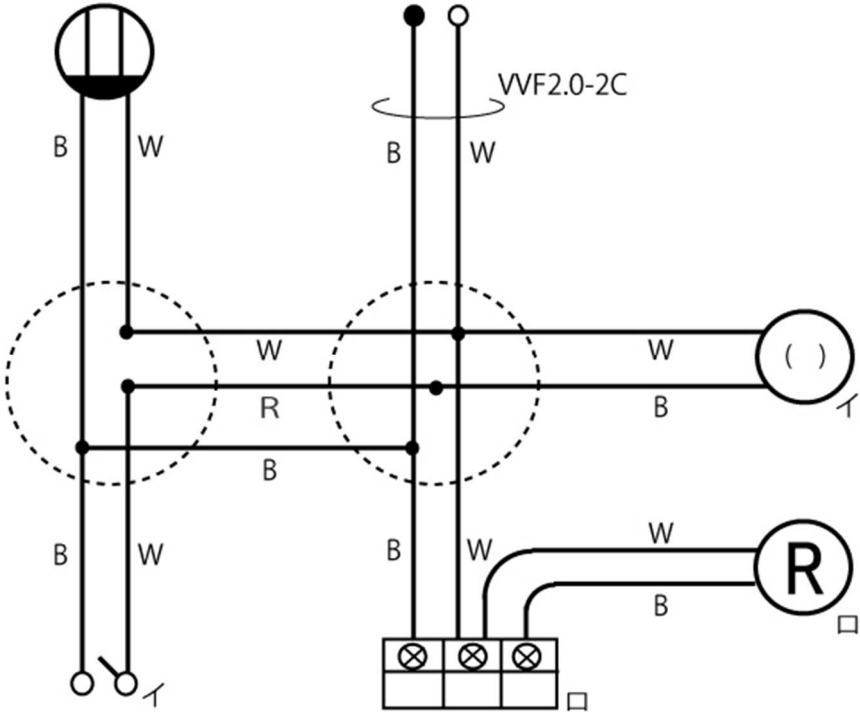


接続を逆にすると、各チェッカーのLEDは点灯しません。ご使用になる前に、LEDの極性をよく確認ください。

ご使用方法

この製品は第二種電気工事士技能試験 候補問題の配線を確認するためのチェッカーです。
過去に出題された候補問題を例に使用方法を説明します。

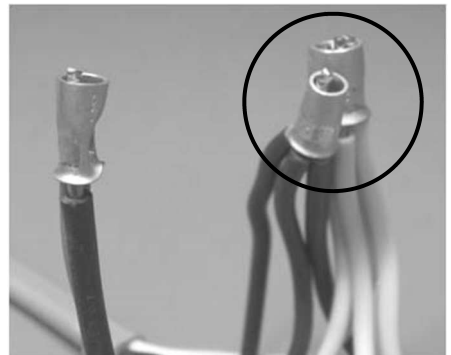
【例題】



黒線：B
白線：W で表しています。

上記の通りに正しく配線されているか確認してください。

また、ショートしていないことを確認してください。右写真のように金属部分が接触しているとチェッカーが機能しません。



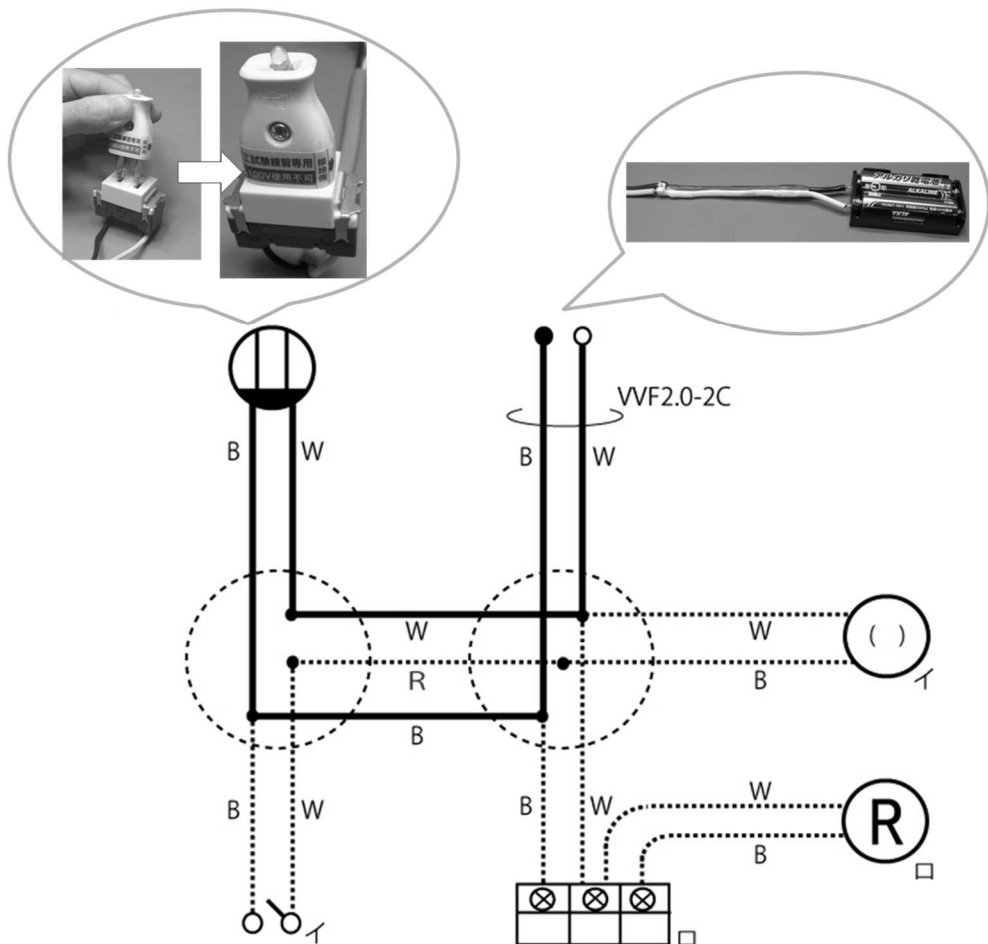
ご使用方法

初めに電源からコンセントへつながる回路のチェックです。

電気の流れは下図のようになっていきます。太い線で表した部分がコンセントにつながる電気の流れです。黒線から白線へと電気が流れていきます。

図の電源部分に電源ボックスを接続し、コンセントチェッカーを接続します。

コンセントチェッカーの接地側と回路の接地側を合わせて接続したとき、正しく配線されていればLEDが点灯します。



これでコンセントへつながる回路のチェックは完了です。

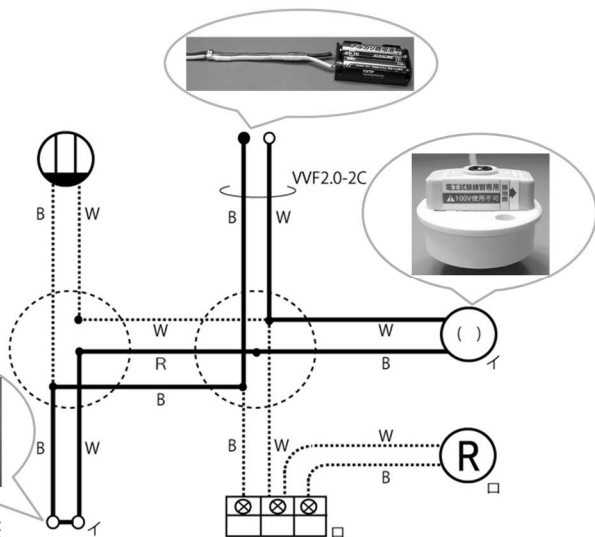
ご使用方法

次にスイッチ(イ)と丸型引掛シーリング(イ)をつなぐ回路のチェックです。

丸型引掛シーリング(イ)に引掛シーリングチェッカーを、接地側が合っているか確認し、接続します。その後、スイッチ(イ)を入れると回路がつながり、正しく配線されていれば引掛シーリングチェッカーが点灯します。

これで引掛シーリングにつながる回路のチェックは完了です。

スイッチ ON の状態



最後はタイムスイッチ(ロ)とランプレセプタクル(ロ)をつなぐ回路です。

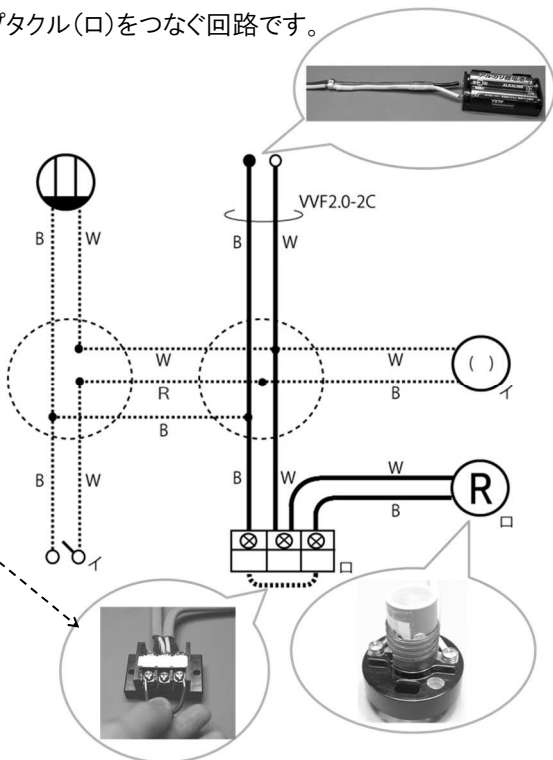
第二種電気工事士技能試験ではタイムスイッチの代わりに端子台を用いるため、電源からつながる黒線とランプレセプタクル(ロ)はこのままでは導通しません。そこで写真のような渡り線を作り、端子台の左端と右端をつなぎます。



ランプレセプタクルにランプレセプタクルチェッカーを接続します。

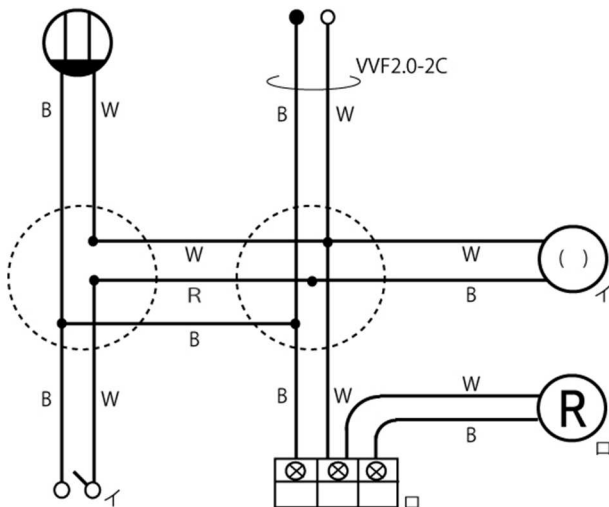
図のように正しく配線されていればLEDが点灯します。

これでランプレセプタクルにつながる回路のチェックは完了です。



ご使用方法

このように電気の流れを理解して配線することを心掛けましょう。



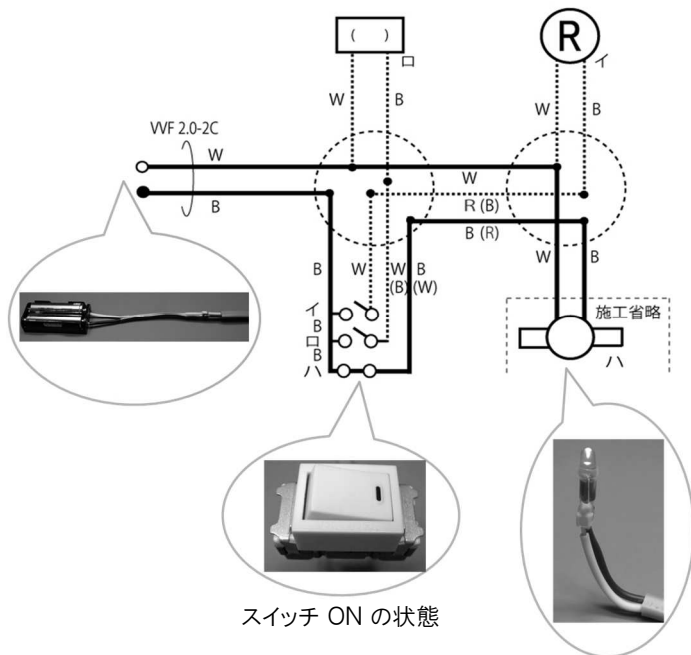
【補足】

上記例題では出題されていない施工省略部分のチェッカーの使用方法是です。

右の例題のように「施工省略」と表される部分があります。この部分には施工省略チェッカーを使用してください。

施工省略部の電線をストリップし、チェッカーの足の色に合わせて電線を接続します。スイッチ(ハ)を入れると、正しく配線されていればLEDが点灯します。

LEDが点灯しない場合は配線に間違いがないか確認してください。



スイッチ ON の状態

技術的なお問い合わせ

ホーザン テクニカルホットライン

☎ **06-6567-3132** E-mail: th@hozan.co.jp

【月曜日から金曜日(祝日を除く)の10:30~12:00・13:00~17:00】

補修部品については、web上のパーツリストをご覧ください。

通信販売もご利用いただけます。 [ホーザン 通信販売](#) **検索**

ホーザン株式会社

本社 〒556-0021 大阪市浪速区幸町1-2-12

TEL(06)6567-3111 FAX(06)6562-0024